

## 国立大学の資産運用が変わるー筑波大学が全国の先導役に ～大学間の連携・人材交流、新たなフェーズへ～

筑波大学では、教育・研究・医療・社会連携の持続的な発展を支える財政基盤の強化に向け、業務上の余裕金を活用した資産運用に取り組んでいます。近年、国立大学法人を取り巻く経営環境は、物価上昇、人件費・光熱費の増加、研究施設・設備更新需要の拡大などにより、一層厳しさを増しています。こうした状況の下、各国立大学では、安全性と流動性を十分に確保しつつ、中長期的な観点から資金運用を高度化する動きが広がっています。

本学においても、適切なガバナンスとリスク管理の下で資産運用を実施しています。2024年9月2日には、国立大学として初めて「アセットオーナー・プリンシプル(AOP)」の受入を表明しました。また、2026年1月23日には、文部科学省および金融庁の後援の下、全国の国立大学法人において資産運用を担当する職員を対象とした「資産運用セミナーⅠ」を開催しました。当日は25大学が参加し、国立大学法人における資産運用やAOPの活用について説明を行うとともに、参加大学間で資産運用に関する知見を共有するなど、実務に資する学びの場となりました。

さらに、来年度からは、専門人材を育成するため、SMFGとの包括的連携協定の一環として、本学職員を三井住友銀行へ出向させ、本学独自の「筑波大学運用モデル」の確立を目指します。あわせて、他大学からトレーニー等を受け入れる人事交流についても検討を進め、本学で培った知識や経験を他大学において活用していただけるよう取り組んでまいります。

今後も、「資金運用セミナーⅡ」の開催などを通じ、国立大学全体における資産運用・資金管理の高度化に向け、先行事例の共有、運用体制の整備、情報公開の充実等を進めつつ、他の国立大学とも連携しながら、こうした取組を着実に推進してまいります。

### 2026年1月23日 資産運用セミナーⅠ



**【本件のお問合せ先】**

筑波大学事業・ファイナンス局資産運用・ファイナンス室

E-mail: [zai.unyou@un.tsukuba.ac.jp](mailto:zai.unyou@un.tsukuba.ac.jp)